

売れる米づくり技術情報 (No. 1)

～ なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい ～

平成21年3月19日
JAにいがた南蒲

品質向上対策3本柱!

- ①適正籾数確保 (小できる稲づくり)
- ②後期栄養・水の確保 (粒張りの良い米づくり)
- ③土づくり (気象変動に強い稲づくり)

1等比率目標：95%以上！ 継続しなければ、評価されない!!
気象変動に負けない稲づくりは、基本技術の確実実践です。

☆4月上旬の播種では気象災害の危険が高い

・播種後の低温による育苗障害 ・生育ステージが早期化し、高温下での登熟により品質が低下

コシヒカリ
高温登熟回避作業

4月7日頃塩水選 ⇒ 4月7日頃浸種 ⇒ 4月18日頃消毒・芽出し ⇒
4月20日播種 ⇒ 5月10日頃田植 ⇒ 8月5日頃出穂 ⇒ **品質向上!!**

1. 床土・覆土の準備 【稚苗一箱当たりの準備例】

床土	床土量	タチガレン粉剤	稚苗苗代配合	覆土	覆土量	ダコニール粉剤	カスミン粒剤 (細菌性病害対策)
	3リットル	6g	25~30g		1リットル	8g	20g

* 細菌性病害対策として、上表のカスミン粒剤の代わりに、カスミン液剤4倍液50mlを、は種後覆土前にかん注してもよい。

2. 種籾の準備から苗管理まで (作業日めやすは稚苗加温で5月10日田植えの場合)

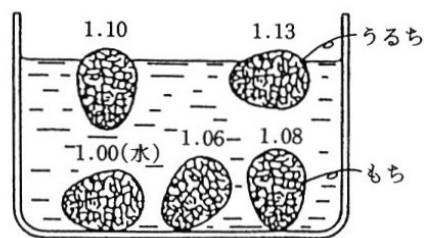
平成20年産種子は休眠が深いと予想されています。そのため、穂発芽性が「難」である「コシヒカリ」と「五百万石」は、特に浸種の水温と積算水温に注意しましょう。

塩水選
めやす 4/7~
水洗い・水切り

充実した種もみを選び、発芽率を高めます。

	比重	水10リットルに溶かす食塩の量
うるち	1.13	1.9kg
もち	1.08	1.1kg

塩水の濃度と生たまごの状態



*比重計のない時は右図のように新鮮な生卵を使いましょう。

浸種
めやす 4/7~

発芽をそろえるために、種もみに水を十分に吸わせます。

水温	浸種期間	要 点
10~15℃	積算温度で100℃	・消毒効果を高めるために前半4日間は水を入れ替えず、その後1~2回水を入れ替える ・ときどき種もみの上下を交換する

種子消毒

薬剤名
エコホープDJ
めやす
4/15~
(浸種後期)

もしくは
18~
(催芽時)

ばか苗病、もみ枯細菌病、いもち病、苗立枯細菌病、褐条病を予防します。

消毒方法	注意事項
方法は二つ! ●浸種期間最後の1~2日間、水換えとともに、エコホープDJ200倍液に籾を漬けて(24~48時間浸漬)、直ちに催芽を行う。浸種液が凍るなど、極端な低温は避ける。 ○薬液温度：10℃以下、30℃以上は避ける。 もしくは、 ●催芽機内の循環水の水温調整をした後に籾を投入(エコホープDJ200倍液中で催芽)。催芽温度は30℃程度(25℃以下、32℃以上は避ける...24時間浸漬)。	○生菌微生物農薬なので、化学農薬を使用した種籾とは一緒に水漬けない。 ○薬液の反復使用はしない。 ○薬液は放置せず、24時間以内に使用する。 出芽 ○無加温出芽の場合、温度条件が気象に左右されやすく障害を受けやすいため、加温育苗がよい。 ○プール育苗の場合の入水や他の薬剤の使用は緑化期以降とする。 催芽後の籾の乾燥は陰干しとし、過度の乾燥は避け、保存せず速やかに種まきをする。 播種 ○人工粒状培土を用い、水はけの悪い育苗シートは使わない。 ○ペノミル剤(バンレートやダコレートの商品名がついた剤)の使用は菌が死滅するため行わない。

芽出し
めやす 4/18~

加温により発芽をそろえます。

温度	注意事項
30℃	・ハト胸状態まで行います。(発芽がそろったら終了) ・催芽時の高温は細菌性病害の発病を助長するので注意する ・ハト胸催芽機へのカスミン液剤の加用は厳禁(耐性菌の発生を助長する恐れがある)

は種
めやす 4/20~

稚苗の場合：一箱当たりのは種量(g)	乾もみ130~140	10a当たり必要箱数のめやす
		15~16箱(50株植え)

140gイメージ



出芽期 以降の技術対策等については、次号 (No. 2) で、
ご確認をお願い致します。

農薬情報

バッチリフロアブルの砂壤土における使用時期は、移植3日後からノビエ2.5葉期まで
但し、移植後30日まで。(壤土~埴土では、移植直後から使用可能です。) **ご注意願います。**

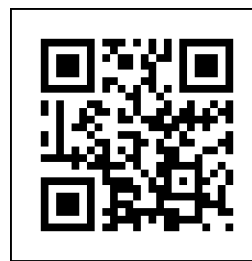
- ・農薬登録状況確認日 平成21年3月18日
- ・農薬を使用する際は使用方法、注意事項等を必ず確認して、周辺への飛散や使用者自身の安全に十分注意しましょう。
- ・農薬使用後は、栽培履歴カードに作業日や散布量を必ず記録してください。

JAからの情報発信

★携帯電話に!

メール機能がついている携帯電話なら登録をすることにより、緊急情報などが携帯電話を通してあなたのお手元に届けられます。

- ① 下のバーコードを読み取らせるか、アドレス(<http://ktai.at/ja-nankan/>)を直接入力して、「JAにいがた南蒲携帯サイト」に接続後、「マガジン登録」を選択。「そのまま送信」を選択して、メール画面になったらメール送信。
- ② 送信後、返信メールが届きます。「ユーザー登録」の受信メールを確認し、受信メールの本文中から登録画面に接続します。
- ③ 郵便番号を入力して、「送信」を選択。引き続き、必要項目(氏名のみでも可)を入力して「確認」を選択。内容確認後「登録」を選択して、完了。



←カメラモードなどのバーコードリーダーで読み取り

もしくは、インターネット画面から直接入力
<http://ktai.at/ja-nankan/>

★情報紙として!

発行NO	発行予定	テーマ
2	4月上旬	育苗後半の管理、移植(5/10植え)
3	5月下旬	中干し・溝切りの確実実施、カメムシ対策
4	7月上旬	出穂予想、早生1回目穂肥、草刈り
5	7月中旬	コシヒカリ出穂期予想、早生2回目穂肥
6	7月下旬	水管理(飽水管理)、基幹防除
7	8月中旬	出穂状況と収穫期予想と水管理対策、乾燥調製等
8	9月上旬	コシヒカリ品質確保
9	10月上旬	次年産米品質向上へ向けて

※上記日程は、予定であり発行日等が移動することもありますので、ご了承のほどをお願いいたします。
また、緊急時には号外等により情報を提供してまいります。

★展示実証ほとして!

各地域にて、H22 コシヒカリBLやコシヒカリ一発元肥施用などの実証ほを設置いたします。